



議会だより

おおたに つきの
今回の題字は、**大谷 月乃**さん（甲田小学校6年生）です。



移動式投票所:吉田高校内で期日前投票する生徒達(7月5日)

6月定例会	2～ 6
第1回臨時会	6
常任委員会報告	7～11
賛否表	12

一問一答

7人が**市政を問う**… 13～16

あんな こんな
地域のかがやき …… 20

第74号

2022(令和4)年8月15日発行



安芸高田市
市議会のページ

一般会計補正予算(第2号)

(コロナ禍の臨時特別給付事業、官民連携手法検討調査業務等)

予算総額 200億5473万円

主な審査

- ・ 議会議員定数条例の一部を改正する条例 **否決**
- ・ 市議会議員及び市長の選挙における選挙運動費用の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 **可決**
- ・ エコヴィレッジかわね／高宮淡水魚養殖施設設置及び管理条例を廃止する条例 **可決**

6月定例会

6月定例会を6月10～27日までの会期で開催しました。

一般会計の補正予算は予算決算常任委員会へ付託しました。

(↓7ページ)

2常任委員会では、付託された議案や所管事務調査などを実施しました。

(↓8～11ページ)

本会議において付託された16の同意案と5議案については、議案第43号「議員定数条例の一部を改正する条例」は否決、その他の議案議員発議2件は原案の通り可決しました。

審査結果については賛否表をご参照ください。

(↓12ページ)

一般質問では7人が市政を問いました。

(↓13～16ページ)

■議案第43号

安芸高田市議会議員定数条例の一部を改正する条例

賛成少数→否決

(詳細 3～6ページ)

■議員発議(2件)

○地方財政の充実・強化を求める意見書について

○少人数学級、教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げに係る意見書について

■主な議案審査の概要と質疑

■同意第4～19号

公平委員会委員(4号)

固定資産評価審査委員会委員(5～7号)

農業委員会委員(8～19号)

それぞれ選任・任命に同意するもの。

※公平委員会委員、固定

資産評価審査委員会委員、

農業委員会委員の氏名については、広報あきたかた及び農業委員会だよりに掲載予定ですので、省略させていただきます。

■議案第44号

安芸高田市議会議員及び安芸高田市長の選挙における選挙運動費用の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

■概要

令和4年4月6日に公布および施行された「公職選挙法施行令の一部を改正する政令」に伴うもの。

■議案第45号

安芸高田市エコヴィレッジかわね設置及び管理条例を廃止する条例

■議案第46号

安芸高田市高宮淡水魚養殖施設設置及び管理条例を廃止する条例

(詳細 産業厚生常任委員会10～11ページ)

議案第43号「議員定数条例の一部を改正する条例」

提案内容 議員定数 16→8へ半減するもの

提案理由 副市長定数削減の理由と全く同じ

①抜本的な財政健全化の必要性

議員8名削減によって人件費約4,500万円圧縮可能。副市長の約1,200万円と比べかなり負担軽減となる。

②市民の評価

居眠りをする、一般質問をしない、説明責任を果たさない、こんな議員はいらないという声を多く聞いている。

質疑

金行 議員定数の半減は市民の理解は得られるか。

市長 市民の理解は最終的にはしっかりと得られると信じている。現段階においては私の真意が理解されないかもしれない。今日ここで問題提起をした。市の代表として、ここに問題があると市民に知らせねばならない。その問題がどのようなものか判断するのは、また市民。まずは市民に事実を、実態を伝える。そこから真の理解が生まれる、と考えている。

秋田 なぜ今なのか。熟慮があるのでないか。

市長 熟慮、意見交換おっしゃる通り。それは、果たして副市長人事の時にあったのか。私の感覚では認識ができていなかった。なぜ今か。3月に受け止めた議会の決意、判断。それを最大限に尊重するために最速のタイミング、今回の定例会で提案した。

南澤 ①議員の質の問題を解決するために定数を減らすというが、定数削減したからといって必ずしも質が向上するわけではない。説明を求める。

②執行部の依頼で、各種の審議会・協議会などの委員を議員が担っている。現在いわゆる「充て職」が、52人分ポストがある。現状を見直す考えがあるか。

③議員定数半減案は、市長が公約に掲げた「政治再建」の取り組みと受け止める。この削減案を通じ、議会や議員、あるいは市民にどうあって欲しいと思っているのか。

市長 ①議員の質、高まると思う。なぜか。限られた椅子を競う、これが選挙。椅子が減れば、競争は激しくなる。競争というのは、あらゆる場面において質を高めるはずだ。

②充て職はいかようにも調整できる。見直しは可能だ。そして、議員ご自身が認識されていると思うが、365日フル稼働されている議員は、一人もいないはず。年収600万弱の職、

もつと働けるんじゃないかな？と言う思いはあって自然だ。

③このまちは課題が山積している。たくさん問題を解決していかなければ、もうもたない。改革が必要だ。でも改革というのは言うほど簡単ではない。改革の根っこに必要なのは市民の意識改革だ。市民の意識に訴える、これが私のすべての政策の一丁目一番地。そのために、今回の提案も含め、政治再建を最重視している。

田邊 ①「議員に対する市民の評価」と言うが、どのように調査したのか。

②5月24日の記者会見では「100%可決すると確信している」と述べたが、5月31日のネット番組では「否決される。それでもやるべき提案だ」とおっしゃった。発言が変化した理由は。

③現在の定数16名でも議員の属性は非常に偏っている。定数が8名になるとさらに偏る可能性が高くなる。どのようにお考えか。

市長

①3月の副市長定数の際、田邊議員がここでご発言されたそれと同一。「そのような声を聞いています」と。市役所のメール、私宛のDM、直接口伝え、人伝え。きつちりとデータとして出ているわけではない。ただ、3月の時点で議員の皆さんがおっしゃった「市民の声、市民の感覚」というのは、それ以上では決していないはずだ。

②いわゆる本音と建前と言うものだ。私は議会、議場というのは建前を大事にすべきだと思う。即ちロジック。何を言ったか、どのように言ったか、記録として残っている。そのロジックに基づくならば、100%可決するだろう。これが記者会見で述べた背景だ。一方、テレビ番組の中でのコメントは、本音の部分だ。実態としてはロジックではなく、感情に支配されているので、「まず無理でしょう」と率直に感想を申し上げた。故に相反する二つの見解が世に出ている。③属性が偏るという指摘だが、私はそう思わない。16人いると属性はうまく分

かれるのか？5人だったら、100人だったら？

違う角度で指摘すれば、一体この多様性というのを何種類で認識されているのか。個性、属性、無数にある。何種類か、定義することは不可能だ。そうした時に属性の偏り云々で定数を議論する、そのこと自体が極めて難しい作業だ。

田邊 ①定数が減ること競争が高まり、質が上がると思ったが、地域代表という考え方が根強く残る中で、必ずしも望む通りの結果にはならないのでは。

②副市長と議員の役割は違うと説明があった。市長のロジック「N1/N2」という部分、副市長定数と議員定数は仕事内容が違うのでそのまま当てはめることはできないと考えるが。

市長 ①現状では競争がほとんど生まれていない。この前の選挙がそうだ。仮にこのまま16人の方々が次、8議席を競われた時には、死に物狂いになるはずだ。市民の声を頑張っけて聞いてまわり、逆に市民の代表と

して市民に市の事務事業を説いて回るはず。その意識が競争原理だと考える。

②副市長と議員というものは同列に扱えないという意見。それは見解の違い。そのような考えもある。ただ、私の立場から申し上げられるのは、現にここに居る副市長、大変な業務で責任も大きな職だ。それが議員のそれに比べて軽い、と私は到底言うことができない。この立場、その想いだけは理解して頂ければ幸いです。

熊高 ①定数8名にした場合、市民の意見が届きにくくなるのとの指摘があるが、8名にした時にどんな形を作れば、市民の意見が上がりやすくなるか。

②財源がポイントになっている。8名にすると4500万が影響してくる。であれば、8名にしたときの議員報酬、若い方の立候補、あるいは議員として活動がしやすい形にするのに、現在の報酬では少し物足りないという意見も全国的な流れである。報酬を倍にしたら財源は変わらないから、

どの辺が適当なのか、市長のお考えがあれば。

市長 ①私が申し上げるまでもなく、皆さんがこれまで熟慮を重ねて来られたではないか。地域懇談会をやる予定になってたはずだが、未だに開催されていない。オンライン形式・市民の声を集約するソフト・アプリなどの活用。属性・テーマを絞った議論。方法はいくらでも考えられる。

②今回は報酬には言及していない。なぜか？同じロジックで行くと、副市長の報酬、倍にしないといけない。今回は単純に3月の議会の意思を尊重する形で定数を半減としている。もともと議員のなり手不足、日本全国で生じている。実際、ある自治体においては報酬の増額がなされている。私がとやかくいう話でなく、議会が情報収集・研究し、議論を重ねていただきたい。

熊高 私も議会運営委員長として、地域懇談会をどうするか協議をしている。議員の中から、手法を変えた方がいいんじゃないかと

意見も出たが、議会は合議制で多様な意見をすり合わせるべくというもどかしさもある。

市長と合議体の議会は違うところを認識をしているのか。

市長 本筋からずれるが、重要なテーマなのでお答えする。まず手法を変えるところ。それは必須だ。時代・環境に合わせてやり方を変える。なぜならば、大事なのは手段ではなく目的だからだ。地域懇談会という手段を大事にしても意味がない。市民の声を聞き、大事なことを伝えるために、どのような場が適切か、与えられた条件の中で解を見出すのが仕事だ。これまでと同じことがやりたい、というのは惰性でしかない。ぜひ、時代の流れをしっかりと読み、その中で最適解を見出して頂きたい。

合議制、理解はしているつもりだ。ただ、やることは同じだ。「検討し、判断する、実施する」これを公明正大に市民に伝えると一言点だ。合議制、結構。ぜひ皆さんで侃侃諤諤、議論

をしてください。大事なものは議論の過程をしっかりとして記録し、公にすることだ。

誰が何と言ったのか？暫時休憩の間に「ご」によごによって、いつの間にか結論が出ていなんて言うのは議論ではない。癒着談合の誹りを免れない。合議体であるならばこそ、何が大事なのか？それを改めて意識し、市民の負託に答えていきたい。

石飛 議員定数8人、本気で絶対安芸高田市のために必要だという気持ちで提出しているのか、それとも問題提起で提出したのか？

市長 全て。議員定数削減そのもの、問題提起。狙いが一つしかないなんて、遠慮がちなことはずがない。一つの策で複数の効果を当然考える。その分、費用も発生する。それらを総合的に勘案してまことに必要か否か？その基準において判断している。

賛成討論

熊高 私の結論は8人で民意は反映できると考えた。私は以前から定数10人で良いと言ってきた。はたして現在の16人なら民意が反映できるのか？数が多いから民意が反映できているのか？

ここ一週間、かなりの方と意見を交わし当然賛否両論、千差万別多々あった。しかし、私はこの8人という数字は市長から議員とそれを選ぶ市民の覚悟を問う数字だと受け止めた。議員も人間なので得意不得意はある。ただ、8人が補い合って活動すれば、市民の意見の届く政治は不可能ではないと私は思う。

これを考えるときに、第三代アメリカ合衆国大統領のトーマスジェファソン「言葉が心に刺った。」「勇気を持ったひとりの人間は多数派である。」もう一つは、「すべての世代が、新たな革命を必要としている。」「こつこつとした思いで私の賛成討論とする。」

反対討論

山本(数) 本提案は、経過を含め、本市の多くの市民の支持が得られるとはとても思えない。提案は唐突で、しかも記者会見で、3月の副市長定数条例のお返しを連想させるような説明を行わない、報復を臭わせるような理由を述べている。先ほどの質疑で否決ありきで提案していることが明らかだ。また市長は、ネット番組で政治再建を行うと発言したが、突飛な発想と手法で独自の政治再建論をもって、安芸高田市を実験台に使用するのはとても迷惑な話だ。このような背景をふまえ、誰もが認めるような過程を踏襲して提出されたものではなく、市民を愚弄するような行為と、市民の権利をないがしろにし、提出された条例案であるため反対する。

南澤 市長の説明の多くは共感する部分もある。例えば「競争が必要だ」、「議員は不断の努力で研さんをし、責任を果す」、「それをしつ

かりと市民に開示する」その通りだと思う。それでもなお、議員定数8が最適なのか、議員報酬、充て職はこのままで良いか、そういった議論が必要だ。例えば委員会は今のまま定数半減すれば、委員長1人と3人の委員で判断して行く。その審議、判断で暴走は起きないのか？丁寧に議論を積み上げ、その結果、8名で妥当と言うことであれば賛成ができるが、現段階で責任を持って8人でいいと言いつつ切れない。

これから皆さんの意見を集めて、話し合いの中で、競争が生まれるよう削減していく必要がある。問題提起は受け止め、ただ現時点では時期尚早として反対する。

田邊 今回の議員定数削減の条例改正案の話は、5月24日の市長記者会見で明らかになった。そこから今日まで17日間。議論をし尽くしたと言える状態ではない。議員定数を削減するメリット、デメリットはあるが、8名でいいという根拠は何もない。ただ、16名であり

続けることが良いというわけでもない。だからこそ議論が必要だ。住民自治という観点から議員定数を変更するのであれば、住民の意思がとて重要である。住民の意思をしつかりと調査し、それを元に議論し、住民の意思が反映される答えを出していくことが必要ではないか。今、議員定数の条例改正をしても基本的に16のままだ。次の選挙は2年後。そこに向けて、議員定数と議員報酬について住民の意思が反映されるよう調査し、議論をして行くことが、真の住民自治と考える。反対とする。

山根 今回の定数半減については議会には全く説明もなく、5月24日の市長定例記者会見の資料が、「安芸高田市議会議員定数について」との表題のもと、A4判片面一枚が配布された。そこには趣旨、市議会議員定数現行16名を8名減にする条例改正を検討中とあった。それから議案として出されるまで、このペーパー以外に何もなく、これまで

の情報は、新聞報道、メディアから驚くばかりだ。先ほど市長は、副市長のときは議運で知ったと言ったが、首長と議会の議員はそれぞれ住民による直接選挙で選ばれる二元代表制だ。議会は、非常に大きな権限を持った市長や執行機関に対するチェック監視機能を果たして行くことが求められている。つまり市長のストッパーとなる。なんと今回はこの議案の提出、議会の定数を市長自らが半減する議案を出されたこと。二元代表制のゆらぎを感じる。

また、市長は先ほど多様性について、8名では偏るということについては「属性の偏り、多様性は難しい議論だ。何種類あると考えるのか」というような発言をした。近年多様な人材が議会に参画し、多様な市民の声を行政に届けることが求められてきているが、定数が半減すれば、その多様な人材の参画がさらには多様な市民の声を届けることも難しくなる。この安芸高田市人口の半分は女性だ。だが、この議会において、わたくし、一人が女性だ。

この状況を見ても、その枠をしぼめることで、どのような状況になるか想像することは可能だ。つまり性別や年齢、職種など、女性や若者、いろんな仕事の方々の参画、今後については必要だ。その機会を、声を届ける機会を減らす。この条例改正案に反対する。

先川 先ほどの市長の答弁で「恥を知れ」と大きな声を出されたが、全く品位のない行為だ。今、本市は、新型コロナウイルス感染者数が依然として連日0とならず、私たちの行動も、大きく制約され、いつ終わるのか不安の中で目に見えない敵と戦っている最中だ。そういう状況の中、突然議員定数を今の16から8に半減するという条例案が提出された。市長は地方自治の仕組みとかは、よくよく理解されている事とは思いますが、議員定数を半減すると言うことは、それだけ住民の意向が市政に反映されなくなることであり、言い方を変えれば、地方自治がそれだけなくなるということの意味する。果してそれでいい

のか？それは当然、慎重に幅広く市民の声を聴かなければならない。これまで議会はそうした丁寧な手続きを取り、今日に至っている。今回残念ながらそれもされず、まさに市民を、議会を無視した暴挙と言わざるを得ない。

先の定例会で議員発議により副市長2名を1名に変更可決した。市長はこれを受け、これに対し議員定数半減を機械的に対応したと言っているが、やられたらやり返す、というようにも見られ、市のトップとしてあまりにも寂しい論理だ。私は副市長の定数と議員定数は全く別問題だと思う。この問題、全国的にも注目されているが、このようなことで本市が注目されることに、心の痛みを感じる。いずれにしても市民あつての安芸高田市。このことを肝に銘じ、健全なる市政運営を望み、反対の討論とする。

大下 否決されることを前提に議案提出されるということにはまったく理解できない。議会は市民の声を市政に届け、またそれを反映

させる機関だ。議員定数は住民自治の根幹に関わる重要な事項。これまで議会自ら、必要に応じて市民の声を聞きながら人口、立地、財政状況、議員の役割、議員の使命等、総合的に検討し慎重に議論してきた結果、現在の定数である。今後においても、議員定数を検討するにあたっては議会制民主主義に基づく二元代表制の意義からしても、これまでの進め方を変えるべきではない。よって本議案については反対する。

採決

賛成 熊高

反対 南澤・田邊・山本(数)
・武岡・新田・菅田・山根
・先川・児玉・大下・山本
(優)・秋田・金行・石飛

**第1回
臨時議会
5月20日**

一般会計5608万2千円追加

(4回目のコロナワクチン接種費用)

予算総額 198億6494万4千円

(一般会計補正予算第1号)

○専決処分した事件の承認について
承認第2号「市税条例等の一部を改正する条例」
承認第3号「国民健康保険税条例の一部を改正する条例」

概要
地方税法等を改正する法律が令和4年3月31日付で公布され4月1日付で施行されたことに伴い、市の条例の一部を変更する必要があるため専決処分としたもの。

承認第4号「令和4年度 一般会計補正予算(第1号)」

概要
4回目のコロナワクチン接種に係る費用。接種の準備を早期に進めるため専決処分としたもの。

○議案第41号「市職員の給与に関する条例及び市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例」
○議案第42号「市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」
○発議第4号「市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」

概要
第41号、第42号および発議第4号は、ともに令和3年度の人事院勧告に基づく変更。

いずれも賛成多数で承認・可決

4
年度
補正

一般会計補正予算(第2号)

1億8978万6千円を追加

可
決

令和4年度一般会計補正予算(第2号)

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億8,978万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を200億5,473万円とするものです。

1. 歳出【通常分】

(単位：千円)

所属	金額	説明
企画部	18,032	過疎地域持続的発展基金積立金300 官民連携手法検討調査業務委託料17,732
産業部	21,698	エコヴィレッジかわね不動産鑑定料・調査設計監理委託料1,700 高宮淡水魚養殖施設不動産鑑定料・調査設計監理委託料1,500 商工業振興施設(八千代町フォルテ)照明器具改修工事3,220 企業連携推進事業補助金等13,870 農業振興施設管理運営費(工事請負費)785 外郭団体等運営指導事業費(備品購入費)623
教育委員会	5,286	毛利元就郡山城入城500年記念協賛事業補助金等
議会事務局	2,376	委員会議事録作成委託料等
合計	47,392	

2. 歳出【新型コロナウイルス感染症対策】

(単位：千円)

区分	金額	説明
新型コロナウイルス感染症対策	142,394	〔住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付事業費〕83,056 臨時特別給付金、システム改修業務委託料等 〔子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費〕24,369 特別給付金、システム改修業務委託料等 〔新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費〕7,682 手数料、通信運搬費等 〔新型コロナウイルスワクチン接種事業費〕27,287 新型コロナウイルスワクチン接種委託料
合計	142,394	

3. 歳入

(単位：千円)

区分	金額	説明
国庫支出金	166,730	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付事業費補助金等
県支出金	△439	チャレンジ・里山ワーク事業補助金
繰入金	13,995	財政調整基金繰入金、ふるさと応援基金繰入金
市債	9,500	過疎地域持続的発展基金造成 消防用資機材搬送車等整備事業
合計	189,786	

総務文教常任委員会

6月21日に委員会を開き、陳情2件を慎重に審査し、報告6件を受けました。

(陳情)

○『島根原子力発電所2号機の再稼働をしないこと』を決議し、島根県及び中国電力(株)に決議したことを通知すること
他1件

(報告事項)

○開庁時間変更の周知スケジュールについて
他5件

委員長 山根 温子
副委員長 武岡 隆文
委員 南澤 克彦
山本 数博
新田 和明
先川 和幸
山本 邦夫
穴戸 優

陳情

「少人数学級、教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げに係る2023年度政府予算への意見書」提出に関する陳情

〔陳情者〕

増川美和子
(広島県教職員組合山県・安芸高田支区委員長)

〔要旨〕

2021年の法改正により、小学校の学級編成標準は段階的に35人に引き下げられた。また、豊かな学びや学校の働き方改革を実現するには加配教員の増員や定数改善も必要である。子どもたちが全国どこに住んでいても一定水準の教育を受けられること、こうした観点から地方自治法99条の規定に基づき意見書を提出するもの。

〔審査結果〕

本陳情は委員会で採択し、発議することとした。

陳情

「『島根原子力発電所2号機の再稼働をしないこと』を決議し、島根県及び中国電力(株)に決議したことを通知すること」に関する陳情

〔陳情者〕

増野一恵
溝田一成
(島根原発再稼働を止めよう連絡会代表)

〔要旨〕

島根原発事故の際、安芸高田市は避難先となっているが、十分な対策ができていない。また、1989年に営業運転し、政府が運転しないという40年越えに迫っている。

〔審査結果〕

本陳情は立地自治体や周辺自治体が様々な事情を勘案し、再稼働に同意している等のことから不採択とした。

報告事項

都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定について

概要

都市計画マスタープラン第1回・第2回の委員会開催状況と7月から10月にかけて地域意見交換会開催などを行い、来年3月にかけて3回程度策定委員会を開催の上、地域別構想や立地適正化計画を策定し、年度末には地域別構想の概要を公表するといふもの。

質疑

山本(数) 吉田町に集約され、各旧町の賑わいゾーンの今後は、**高下政策企画課長** お店や金融機関など生活に必要な機関は当然維持していかなくてはならないと考えている。

中学校の規模適正化に伴う説明会開催状況について

概要

令和4年度に保護者アンケートを実施した上で、統合計画を策定し教育委員会会議で方針を決定する予定。4月から6月までに市内保育所・幼稚園、小学校の保護者に説明会を実施済。PTA連合会等学校関係団体や学校運営協議会に7月上旬までに説明会を終える予定。

質疑

山本(数) 一般市民からの意見を聞く場をもつ考えは、**石丸市長** 「全く関係のない市民の意見を」とのことだが、素案を作成しパブリックコメントを実施することが最適である。



利活用が期待される旧来原小学校

みんなの廃校プロジェクトについて

■概要

閉校になった学校施設の利活用について一般公募の結果、最終的に旧郷野小学校、旧刈田小学校、旧小田東小学校の3件の申し込みがあった。7月中旬に審査会などを経て契約の締結へ結び付けていく。早ければ来年度から事業開始を目指す。

開庁時間変更に伴う周知スケジュールについて

■概要

本庁・支所の開庁時間を10月1日より9時から17時に変更、また支所の宿日直を廃止し、機械警備に変更するもの。

■質疑

山本(数) この開庁・閉庁時間をずらすこととの市民にとっての利益はどのくらいか。

庁舎名	証明書発行件数	
	8時30分～9時	17時～17時15分
本庁	299	173
八千代支所	42	20
美土里支所	34	7
高宮支所	25	2
甲田支所	63	36
向原支所	69	42
合計	532	280

※令和3年9月から12月の証明書発行件数

石丸市長 抜本的な財政健全化や行政のスリム化は市民にとって必要。

山本(数) 財政健全化につながるとは思えないが。

石丸市長 行政の効率化は、財政健全化の基本中の基本である。

山本(数) 時間変更について旧6町へ、住民説明会をされるのか。

石丸市長 そのような計画はない。

新田 9時以前と17時以降の証明書発行件数は。

新谷総務課長 左上の表のとおりである。

新田 職員1人が年間約150時間残業とのことだが、実際の位経費削減ができるのか。

新谷総務課長 ミーティング等をしていると仮定すると概算で年間約400万円削減できると計算している。

山本(数) ミーティング等が時間外としてあがっているのか。

石丸市長 ミーティング等業務には対価が発生する、時間外を支払わなければ違法となる。

先川 県や他の市・町との調整や協議はどのようにされているのか。

石丸市長 直接行って議論・説明し大変強く賛同いただいた。



令和4年10月から 9時開庁・17時閉庁となる本庁・各支所



産業厚生常任委員会

6月22日に委員会を開き、議案2件、陳情4件を慎重に審査し、報告7件を受けました。

(主な審査)

- エコヴィレッジかわね設置及び管理条例を廃止する条例
- 安芸高田市高宮淡水魚養殖施設設置及び管理条例を廃止する条例

(審査した陳情)

- 児童福祉の環境改善に関する陳情書
- 別居・離婚後の共同親権及び共同養育の法整備に関する陳情書
- 女性トイレ維持及びその安心安全の確保について
- 子ども家庭庁発足に先立つ児童相談所の早期改善に関する意見書の提出

・エコヴィレッジかわね設置及び管理条例を廃止する条例
・高宮淡水魚養殖施設設置及び管理条例を廃止する条例
(一括審議)

■概要

指定管理協定により管理運営している「安芸高田市エコヴィレッジかわね」及び「安芸高田市高宮淡水魚養殖施設」について、民間への譲渡を目的に、設置管理条例を廃止するもの。

■質疑

秋田 今後、行政としての支援はなくなるのか。

森田農林水産課長

全て民間に委託することから補助をすることは考えていない。

児玉 修繕費や解体費といった費用につ

いて本市が関与することはないか。

森田農林水産課長

今回の補正予算で、不動産鑑定費用と解体調査費用を計上している。今後、条例が廃止され、民間への譲渡が終われば本市で負担する費用はなくなる。

田邊 民間譲渡することで集客が期待できるという根拠は。

森田農林水産課長

公的な機関、施設だと縛りがあるが、民間のやり方でやっていくことで、集客なり利益が見込める。

石飛 当初の設置目的は条例廃止後、どのように継続していくのか。

森田農林水産課長

民間に譲渡する方法として公募型プロポーザルを行うが、当初の設置目的を選定の一つの材料として考えていきたい。

石飛 Wi-Fi等の環境について現在の状況は。

森田農林水産課長

周辺には、光ファイ

バーが整備されている。条例廃止までに災害対策も含め、お太助フォンを整備していく。

報告事項

広島県水道企業団設立準備協議会の検討状況について

■概要

令和5年度の水道事業統合に向け、協議会での企業団の組織、職員体制、工業用水、工業用水道事業、準備に要する費用等の検討状況の詳細について。

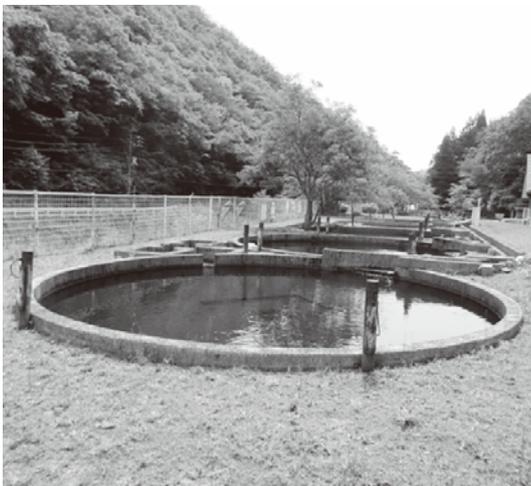
■質疑

芦田 収支シミュレーションは。

佐々木上下水道課長

企業団参加による財政効果額は、施設整備で56億円、維持管理で約22億円。約78億円の効果がある。仮にこの効果額があっても、使用料アップという形になる。

秋田 本市で県水道企業団に関わる職員



民間活用が期待されるエコヴィレッジかわね・高宮淡水魚養殖施設

に関する陳情書

(報告事項)

- 第3次安芸高田市男女共同参画プラン
 - 令和3年8月災害廃棄物の処理状況
 - 保育士等奨学金返済支援補助金について
 - 令和3年8月豪雨による農地・農林業施設等の災害復旧状況について
 - 広島県水道企業団設立に向けた検討状況について
- 他2件

委員長 大下 正幸
副委員長 芦田 宏治
委員 田邊 介三
児玉 史則
熊高 昌三
秋田 雅朝
金行 哲昭
石飛 慶久

陳情

女性トイレの維持及びその安心安全の確保についての陳情

〔陳情者〕

飯野香里・井上恵子・永田マル・山田響子（女性スペースを守る会-LGBT 法案における『性自認』に対し慎重な議論を求める会-共同代表）

〔要旨〕

労働安全衛生規則第628条及び事務所衛生基準規則第17条所定の事業所トイレにおける原則「男性用と女性用に区別して設けること」を今後も崩さないよう厚生労働省に申し入れ、また、公的な建物内、公衆便所、店舗等の不特定多数が使うトイレにおいて、女性トイレを維持し、女性の安心安全という権利法益を守るべく諸方策をとるよう国に申し入れる陳情。

〔審査結果〕

上記陳情は不採択とした。

陳情

- ①児童福祉の環境改善に関する陳情
- ②別居・離婚後の共同親権及び共同養育の法整備に関する陳情
- ③こども家庭庁発足に先立つ、児童相談所の早期改善に係る意見書の提出に関する陳情

〔陳情者〕

江邑幸一（全国の児童相談所が行う子どもに対する人権侵害を阻止する会代表）

〔要旨〕

- ①児童虐待殺人事件を阻止し、児童虐待阻止強化が強く求められている。児童相談所の対応、市町村の対応、児童の人権についての取り組みの改善を求める陳情。
- ②「子どもの最善の利益」を実現し共同親権にするための意見書を提出する陳情。
- ③児童相談所が子どもの人権を尊重する改善策を早期に実施するために、国に意見書を提出する陳情。

〔審査結果〕

上記陳情はいずれも不採択とした。

は何名になるのか。

佐々木上下水道課長

所長1名、業務係、工務係、それぞれ3名ずつ、計7名の体制と見込んでいます。

令和3年8月豪雨による農地・農林業施設等の災害復旧状況について

■概要

令和3年8月豪雨による農地・農林業施設等の災害復旧状況、今後のスケジュール等について。

■質疑

金行 令和3年の被害で、今年の水田の作付面積は、どのくらい減っているのか。
森田農林水産課長 作付面積については、地域営農課が把握している。

※委員会終了後、地域営農課より、19・9ha減少との回答

賛否表

※今号より議会基本条例に基づき賛否表を掲載することになりました。

第6条(4) 議会は、重要な議案に対する各議員の態度を議会広報で公表する等、議員の活動に対して市民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めなければならない。

種類	番号	議案名	議員名	田邊 介三	児玉 史則	大下 正幸	芦田 宏治	熊高 昌三	秋田 雅朝	金行 哲昭	石飛 慶久	南澤 克彦	山本 数博	武岡 隆文	新田 和明	山根 温子	先川 和幸	山本 優	穴戸 邦夫	審査結果	議決日		
				産業厚生常任委員会						総務文教常任委員会													
				会派	シセイクラフ	清志会	無所属	シセイクラフ	清志会														
議案	第43号	安芸高田市議会議員定数条例の一部を改正する条例		●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	*	否決	6/10	
議案	第44号	安芸高田市議会議員及び安芸高田市長の選挙における選挙運動費用の公費負担に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決	6/10	
議案	第45号	安芸高田市エコヴィレッジかわね設置及び管理条例を廃止する条例	委員会	○	○	*	○	○	○	○											可決	6/22	
			本会議	○	○	○	○	○	○	○	○											*	可決
議案	第46号	安芸高田市高宮淡水魚養殖施設設置及び管理条例を廃止する条例	委員会	○	○	*	○	○	○	○												可決	6/22
			本会議	○	○	○	○	○	○	○	○											*	可決
議案	第47号	令和4年度 安芸高田市一般会計補正予算	委員会	○	○	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決	6/13
			本会議	○	○	○	○	○	○	○	○											*	可決
陳情	1	「[島根原子力発電所2号機の再稼働をしないこと]を決議し、島根県及び中国電力(株)に決議したことを通知すること」に関する陳情										●	●	●	●	*	●	●	●		不採択	6/21	
陳情	2	児童福祉の環境改善に関する陳情書		●	●	*	●	●	●	●	●										不採択	6/22	
陳情	3	別居・離婚後の共同親権及び共同養育の法整備に関する陳情書		●	●	*	●	●	●	●	●										不採択	6/22	
陳情	4	女性トイレの維持及びその安心安全の確保について		●	●	*	●	●	●	●	●										不採択	6/22	
陳情	5	こども家庭庁発足に先立つ児童相談所の早期改善に係る意見書の提出に関する陳情書		●	●	*	●	●	●	●	●										不採択	6/22	
陳情	6	少人数学級、教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げに係る2023年度政府予算への意見書提出に関する陳情										○	○	○	○	*	○	○	○		採択	6/21	

*…議長、委員長は採決に参加しません。 ○…賛成 ●…反対

下記議案については全員賛成で同意・承認・可決

■令和4年第1回 臨時議会(5月20日)

承認 第2号 専決処分した事件の承認について【安芸高田市税条例等の一部を改正する条例】

承認 第3号 専決処分した事件の承認について【安芸高田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例】

承認 第4号 専決処分した事件の承認について【令和4年度 安芸高田市一般会計補正予算(第1号)】

議案 第41号 安芸高田市職員の給与に関する条例及び安芸高田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

議案 第42号 安芸高田市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

発議 第4号 安芸高田市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

■令和4年第2回 定例議会(6月10日～27日)

同意 第4号 公平委員会委員の選任の同意について

同意 第5～7号 固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について

同意 第8～19号 農業委員会委員の選任の同意について

発議 第5号 地方財政の充実・強化を求める意見書について

発議 第6号 少人数学級、教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げに係る意見書について

今号より一般質問のレイアウトが変わりました。

【QRコードの使い方】

- ①スマートフォンのカメラを起動する。
- ②カメラの画面でQRコードを映す。
- ③画面上部に出るリンクをタッチして開く。



※機種により非対応のものもあります

一般質問

7人が市政を問う

顔写真

(議員名簿より)

氏名

(会派名)

- この項目について質問しました**
- ① 子育て支援について
 - ② 高齢者福祉について
 - ③ 獣害対策について



①質問項目を質問順に全て掲載します。
→何についての議論があったかわかるようになります。

②動画配信サイトのQRコードを添付。
→気になる話題を詳しく知りたい方へ情報が届くよう工夫しました。

芦田 関西圏で初めてとなるひろしま安芸高田神楽大阪公演を5月14日に開催したが成果を伺う。

市長 大阪メルパルクホールは満席となり、従来の東京公演は5百万円から1千万円の市の持ち出しがあったが今回は2百万円まで圧縮した。ファン層拡大の取組も始まり収穫の多い事業だった。

芦田 今回の成果を市内の観光全般に波及効果を出すための施策を伺う。

市長 J.Rや旅行会社と連携して、まずは関西からの誘客に注力し、全市的に考えていきたいと考



芦田 宏治
(無所属)

この項目について質問しました

- ①ひろしま安芸高田神楽大阪公演について
- ②毛利元就の郡山城入城500年の記念事業と登山道などの整備について
- ③副市長の1人体制への変更と今後の市政運営について



ひろしま安芸高田神楽大阪公演 (羽佐竹神楽団)

えている。

芦田 安芸高田市には22の神楽団があるが、コロナ禍の影響により公演回数が激減し、どの神楽団も厳しい運営を余儀なくされている。神楽団が活動しやすい支援はできないか。

市長 神楽団を支える方法としては、公演する機会の創出を通して活動を応援していきたい。



金行 哲昭 (無所属)

この項目について質問しました
①世界で一番住みたいまちづくりについて



金行 政治再建として政治のわかる化、都市開発として将来を考えた投資、産業創出としてリモートを活かした人材の確保の取組状況は。

市長 政治再建は、道半ばという評価、政治の見える化、分かる化を一層進める。都市開発と産業創出は中長期の目標で神楽門前湯治村、公共交通機関、病院、防災については取組に着手している。産業創出は、ITの活用と人材の確保に言及し、GIGAsスクール構想の実現、サテライトオフィスやコワーキングオフィスの整備によつ

て築いている。
金行 人口減少と高齢化の対策は。

市長 人口減は回避不能を前提に持続可能な形を模索している。高齢者も生活、行動の様式も変わり、デジタル化の時代に合わせ高齢者の

サポートをしていき
たいと思っています。

る。都市開発と産業創出は中長期の目標で神楽門前湯治村、公共交通機関、病院、防災については取組に着手している。産業創出は、ITの活用と人材の確保に言及し、GIGAsスクール構想の実現、サテライトオフィスやコワーキングオフィスの整備によつ

①政治再建、②都市開発、③産業創出を柱に「この先も世界で一番住みたい」と思えるまちを目指します。

政治再建
まずは、法令等の遵守（コンプライアンス）を徹底します。コンプライアンスとは、法律や規則を守るのもちろんのこと、その基となる社会規範に順じて行動することを意味します。現在、民間企業が最も注意を払うのがコンプライアンスの問題です。市政においてもコンプライアンスの意識を高め、汚職といった不祥事を撲滅していく取り組みが求められます。

都市開発
今後、安芸高田市は特に人口減少・少子高齢化が進み、歳入の減少と歳出の増加によって財政がますます悪化していく見込みです。財政の悪化が進む下では、病院や学校、道路や水道など社会インフラ（基盤）の維持が難しくなっていくと懸念されます。財政の健全化は持続可能な社会に不可欠な要素ですが、そのためには中長期的な視点に立った「まちづくり」が必要です。今ある資源を有効に活用しつつ、先を見据えた投資を行い、早急に自立した経済を構築しなければなりません。

産業創出
自立し持続可能な社会の実現には、人材の確保が必要です。人材を外から呼び込むと同時に、内で育てる仕組み作りが急務と言えます。この度の新型コロナウイルスによって、企業や学校はその在り方を大きく変えようとしており、図らずも仕事や教育は柔軟性を高める好機を得ました。今の子どもたちが、このまちで学び、仕事に就き、そして新たな産業を生み出していく道が見え始めています。

石丸市長の選挙公約

田邊 「市政の動き」に議員の居眠りと書かれているが、事実確認をされたのか。
市長 私自身が現場を確認している。加えて、3月29日付けで議長へ議員の指導を要請する通知を送っている。これに反論や異議申し立てがなかったため、事実として受け止めている。
田邊 寝ていたと思っただけなら、なぜ「らしき」という表現を使ったのか。
市長 目を閉じたまま何ら身動きがない状態というのは、客観的かつ一般的に居眠りと評される。
田邊 常習化と感じ



田邊 介三 (シセイクラブ)

この項目について質問しました
①「広報あきたかた」について



ていたならもっと早いタイミングで対応を求められることができたのではないかと。
市長 居眠りへの対応は本来、執行部の仕事ではない。

※「議員定数の条例改正について」は6月10日に審議されたため質問を取り下げました。

市政の動き
定例会における不適切な発言
議事録の訂正
山本(数)議員のコンプライアンス違反(議員に対するパワーハラスメント)
議員会長の発言
議員と監督官庁
市長 目を閉じたまま何ら身動きがない状態というのは、客観的かつ一般的に居眠りと評される。
田邊 常習化と感じ

「広報あきたかた」5月号の「市政の動き」

農地関連法成立の見解

秋田 労働力不足対策の一案として、全国的に広がっている「農業支援サービス」の展開を検討できないか見解を伺う。

市長 今後の農業振興には、分業・協業を進めるべきで、事業体との連携・活用も必要だと思う。その際の課題が農業支援サービスをを行う事業体の確保で、農業者のニーズを把握しそれに応じた事業者を募り、市内業者の育成、市外での活動事業者を呼び込むという二軸で進めていく考えである。



秋田 雅朝 (無所属)

この項目について質問しました

- ① 農業振興における労働力不足対策について
- ② 人・農地関連法成立に対する今後の見解は
- ③ 学校におけるコロナ禍での熱中症対策について



農業支援サービス事業イメージ (出典：農林水産省農産局ホームページ)

秋田 農地利用の将来像を描く「人・農地プラン」を「地域計画」として策定しなくてはならない法の今後の見解は。

市長 プラン作成には職員等の人手不足

の課題があり、作業における効率化が求められる。地域ごとに状況が異なるので作成の難易度を見極めながらの対応となると考えている。

石飛 課題解決をする都市計画事業の具現化を目標とした計画策定かを伺う。

市長 都市マス自体は事業の具体化を目標としない。

石飛 吉田都市計画区域の都市計画に関する方針に、神楽を取り込む可能性は。

市長 吉田都市計画区域の方針に神楽を盛り込む可能性はゼロ。

石飛 都市計画において、良好な住環境及び治水対策の都市施設として定め、記載すべき。

市長 マスタープランに基づき、この先で検討していく手順となっている。



石飛 慶久 (無所属)

この項目について質問しました

- ① 安芸高田市都市計画マスタープランについて



吉田町都市計画図

石飛 都市計画審議会の開催は。

猪掛企画部長 都市計画審議会は、予定を修正し、7月と3月末に計画。吉田地域は、都市計画・立地適正化計画等があり、地域の方々の意見を聞く機会を設ける。



南澤 克彦
(シセイクラブ)

この項目について質問しました
①市有常友・甲田住宅の住宅用途廃止について
②住宅政策について



南澤 公営住宅等長 寿命化計画では、用途廃止の基準は①耐用年数②低需要③建て替え困難な立地、とある。いずれも該当しないが。
河野建設部長 コンクリートの膨張亀裂などから安全性確保が出来ないため判断した。

南澤 耐震診断は、

河野建設部長

行っていない。
南澤 計画には「耐震性不足のため」とあるが。

河野建設部長

コンクリート片の落下が発生している。耐震性が理由ではない。安全性の問題。

市長 計画は基本指

請願の趣旨

市有住宅の廃止に伴う入居者に対する対応についてお願い

請願の要望事項

- 1 退去期間の延長。
- 2 低所得者、年金受給者、身障者、1人親家庭、病気により働けない者等の公営住宅入居基準者に対する住宅の建設、又は、住居費の救済援助を求める。
- 3 上記、1・2に関しての協議会を設けること。

住民が提出した請願書

針ではあるが、必ずしもその全てを履行するわけではない。コンクリート剥離など事実を重視し判断した。
南澤 収支は黒字。長く活用することが財政的にも、入居者

にもよい。4年後の用途廃止まで契約更新を認める考えはないか。
河野建設部長 個別相談会で要望を受けている。契約延長をする。



熊高 昌三
(無所属)

この項目について質問しました
①スポーツ振興について
②市役所機能について
③神楽公演について
④政治改革について
⑤ジェンダー平等について
⑥マスタープランについて



熊高 スポーツ庁の提言する民間スポーツクラブの活用は。
教育長 令和5年度から3年間で改革し、併せてスポーツ振興のあり方も議論を始めている。

マスタープラン策定状況は

熊高 進捗状況について伺う。
市長 策定委員会の中で専門的知見を

持った正副委員長を中心に、データに基づいた事実を確認し、課題を洗い出し、市民にも分かりやすい議論を行っていき

ジェンダーについて

熊高 ジェンダー平等とコンプライアンス条例の必要性は。

市長 ジェンダー平等は、男女共同参画社会基本法として定められている。一方、思想信条は憲法に定めがあり、個人の意志は尊重される。相反する概念の中で、行政が条例等によって強制することは難



中学校でのスポーツクラブ活動状況

令和3年度 政務活動費収支報告

条例に基づき、議員の調査研究・活動に要するために必要な経費の一部が交付されます。
安芸高田市では、議員個人に月額3万円交付されています。

(単位：円)

氏名	交付金額	支出額	支出内訳				残余金 (返納額)
			調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	
南澤 克彦	360,000	161,987	0	5,000	0	156,987	198,013
田邊 介三	360,000	23,232	0	13,222	0	10,010	336,768
山本 数博	申請なし	—	—	—	—	—	—
武岡 隆文	360,000	112,276	0	0	0	112,276	247,724
新田 和明	360,000	40,800	0	0	0	40,800	319,200
芦田 宏治	360,000	187,419	0	0	0	187,419	172,581
山根 温子	360,000	33,880	0	0	0	33,880	326,120
先川 和幸	360,000	0	0	0	0	0	360,000
児玉 史則	申請なし	—	—	—	—	—	—
大下 正幸	360,000	39,876	0	0	0	39,876	320,124
山本 優	360,000	48,000	0	0	0	48,000	312,000
熊高 昌三	360,000	248,590	0	0	270	248,320	111,410
秋田 雅朝	360,000	70,876	0	6,400	0	64,476	289,124
金行 哲昭	360,000	41,448	0	0	0	41,448	318,552
石飛 慶久	申請なし	—	—	—	—	—	—
穴戸 邦夫	申請なし	—	—	—	—	—	—
合計	4,320,000	1,008,384	0	24,622	270	983,492	3,311,616

※政務活動費を使用した活動による支出額が交付額（年間 36 万円）を超えている場合は、交付額を記載しています。（超えた部分は自己負担です。）

※すべての支出について、領収書等で確認しています。

※ [市ホームページ](#) → [安芸高田市議会](#) のページにも掲載しています。

中国市議会議長会 議員表彰

議員24年：熊高 昌三

議員20年：秋田 雅朝

全国市議会議長会 議員表彰

議員15年：山本 優

議員10年：山根 温子

地域懇談会

安芸高田市議会による地域懇談会

7月14～17日の4日間、議会が各町を巡回し、地域懇談会を開催しました。
 テーマによる意見交換を行った後、テーマ以外の意見もお聞きしました。
 詳しい内容については次号の議会だよりにて掲載する予定です。



73号の誤記訂正について

お詫びと訂正

議会だより第73号に誤りがありました。
 訂正し、お詫びいたします。

- P7 一般会計補正予算(第13号)「歳出」の表
 - ・広域ネットワーク管理事業費 <誤> 3,506 → <正> △3,506
 - ・児童手当給付事業費 <誤> △2,591 → <正> △25,910
- P14 一般質問 山本数博議員の見出し
 - ・<誤>市長／**民家**の賃貸住宅～ → <正>市長／**民間**の賃貸住宅～

甲田町

奥田 順子さん

吉田町

和木 まり子さん

今回、初めて市議会定例会に行ってみることができて良かったと思います。感想として、私は今実家の田んぼの管理で困っているのですが、今日の農業振興対策についての質問にすぐく関心がありました。議員さんの質問と市長さんの考えを聞いていて、しっかり取り組んでいただいていると安心し、私の実家のことですが母も亡くなり、実家だった家も売れ、私が田んぼなど不動産の管理をすることとなり、不安でした。よろしく願います。

友達に誘われて初めて行ったけど、議員さん達の仕事ぶりも見れたし良かったです。昼前見た感じとしては市長は的確に言われているので分かりやすかったですね。副市長の話も聞いて、なるほどと思っても安芸高田市の人口だと一人がいいと思いますよ。議員を半分にするのはちょっと違うのかな。段階的に変えていく方がいいのかなと思いますよ。安芸高田市以外の地域の人達からも注目の的がある意味すごいことだよ。

議会のうごき

議会のうごき

4月～6月の議会の主な活動状況

4月

- 1日 全員協議会
- 11日 議会広報特別委員会
- 20日 全員協議会
- 26日 議会広報特別委員会

5月

- 12日 議会運営委員会
- 20日 第1回臨時会
全員協議会

6月

- 3日 議会運営委員会
- 10日 第2回定例会（開会）
- 13日 予算決算常任委員会
議会広報特別委員会
- 15日 本会議（一般質問）
- 16日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
- 20日 全員協議会
- 21日 総務文教常任委員会
- 22日 産業厚生常任委員会
- 27日 議会運営委員会
第2回定例会（閉会）

■令和4年第3回定例会は9月上旬から開会を予定しています

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

●議会だよりは無料ビューアアプリ「Catalog Pocket（カタログポケット）」でもご覧になれます。

議会だより第74号へのリンク（8月25日公開予定です）



地域のかがやき

吉田 今に引き継ぐ 協同一致



毛利元就公墓前祭 (7月16日)

八千代 コロナ禍の中の運動会!
楽しいな!



八千代南保育園 (6月4日)

美土里 4年ぶりの開催!



第34回 町老連スポーツ大会

高宮 リハビリ体操
~(ころげん体操・歌体操・口腔体操)~
いつも元気に行っています



高美園通所介護事業所 (7月11日)

甲田 ガムシャラフェス大成功!



頑張ってる人を応援する音楽イベント開催

向原 収穫間近! 特産えびす茶



保垣地区園場 (7月1日)

編集後記

今年の梅雨はあっという間に終わり、西日本では暑い日が続くと予想されています。一方で心配されるのが、平成30年の西日本豪雨災害や昨年の8月豪雨災害をもたらした大雨です。

また、今年2月よりロシアによるウクライナ侵攻が始まり、化石燃料や食料品・電気等あらゆる物が高騰し、生活環境に大きな影響を与えています。

自然災害の対応策、コロナと共存した生活環境、さらに加速する少子高齢化の課題など「市民の命と財産を守りぬく」その大きな使命を議会議員は担っていることを常に自覚し忘れまい、との思いで精進してまいります。

(新田 和明)

〈発行責任者〉

議長 穴戸 邦夫

〈議会広報特別委員会〉

委員長 新田 和明

副委員長 南澤 克彦

委員 田邊 介三

山本 数博

武岡 隆文

芦田 宏治